

静岡市立千代田小学校 古代体験授業レポート

静岡県埋蔵文化財センター

令和3年6月24日（木）

本物を見て、触って、当時の人々と同じことをしたよ。

授業で扱った縄文時代～弥生時代の生活が感じ取れることを目的に出前授業を要請してくださいました。実際に見たり触れたりすることで当時の人々の苦労や工夫を実感できるように、発掘調査の話・土器の分類体験・石器の試し切り体験・火起こし体験の四つの体験を行ないました。どの体験も夢中になって取り組む姿が見られました。

◎発掘調査の話



埋蔵文化財センターが行なった発掘調査や遺跡の話、発掘後の遺物の保存方法などの話を、画像を見ながら大変興味深く聞くことができ、歴史に対する関心を抱くことができました。

◎火起こし体験

火起こしをしたことがない児童が多かったことと時間が少し短かったこともあり、すべての班が火を起こすことはできませんでした。それでも、弾み車をリズムよく回し、回転力が落ちないように二人で協力してやっていると火種ができ、火種を火口にのせ、フーフータイムを頑張っていると火が起きました。



◎土器の分類体験

縄文・弥生・古墳時代の土器の違いについての話を聞いた後、実際に出土した完成土器を手に取り、重さや質感、模様などをよく観察し、土器片と比べながら分類していました。微妙な土器の違いを話し合いながら分類することができました。



◎石器の試し切り体験

打製石器や磨製石器、黒曜石について話を聞いた後、黒曜石で新聞紙やニンジンやピーマンなどの野菜くずを試し切りしました。黒曜石の石片が鋭いことに驚き、堅い物も切れることに興味を持ち、生き生きと取り組む表情が印象的でした。

